

学校経営目標 最重要目標

「行きたくなる学校」に基づく

「一人ひとりの進路実現に向けたキャリア教育の充実」について

◎本校のキャリア教育の具体的な取組

1. 社会人講師による講演会（1年次：産業社会と人間【5月・6月】）



AMDA
菅波 茂 氏



株式会社リノベクニ
西尾 和也 氏



テレビせとうち株式会社
料治 叶実 氏

2. 企業訪問バスツアー（1年次：産業社会と人間【9月】）訪問先：6社



高雄工業株式会社



DNP 大日本印刷株式会社



株式会社エフバーカー
コーポレーション



内山工業株式会社



平林金属株式会社



株式会社 西日本アチューマツト
クリーン

※ICTの活用について

訪問先の企業の情報（ホームページ）や、本校に届いている求人票をデジタル化してサイトにまとめ、事前学習の際に活用した。生徒は1人1台端末を活用して企業の情報を十分調べた上で訪問先企業を決定することができた。また、フォームを活用して訪問先企業の希望や質問事項などを効率よく集約することができた。

<サイト参考図>



3つのチームの中から、どれか1つのチームに参加し、地元の企業を訪問しよう。

(このページの最下部に申込みフォームがあります。)

受け入れてくださる企業への感謝を忘れず、気持ちの良い挨拶や態度を示そう。



チーム①

午前：DNP（関連会社の製品）
(DNPイメージングコム)
(DNPファインオプトロニクス)
(DNP生活空間)
午後：高雄工業



チーム②

午前：平林金属
午後：エフベーカーリー



チーム③

午前：内山工業
午後：西日本アチューマツトクリーン
(E・フォレスト岡山)

今年度、岡山御津高校に届いている上記企業の求人票（高卒就職）はこちらから参照できます。

[企業訪問（御津地域工場等見学）計画について（PDF）](#)

3. 職場訪問（班別自主研修、1年次：産業社会と人間【9月】）訪問先：約20社



株式会社 アミーゴ



ナカウン株式会社



介護老人保健施設 恵風苑



株式会社 天満屋ストア

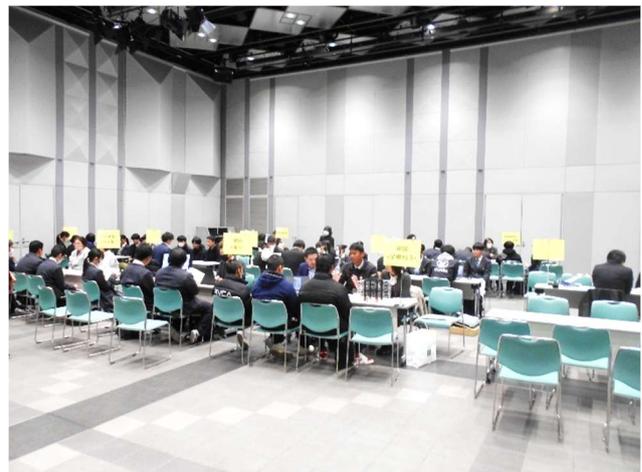


両備ホールディングス株式会社



株式会社 芦野組

4. 進路フェスタ（校外行事、1・2年次生参加【12月】）業種別にブースの設定有



5. キャリアセミナー（校内行事、1・2年次生参加【2月】）参加企業：34社



キャリアセミナー（全体）



両備グループ



大黒天物産株式会社

6. 進路ガイダンス（校内行事、1・2年次生参加【3月】）分野別：約20ブース



情報・デジタルクリエイター関係



自動車関係

7. 「御津トーク（社会人との座談会）」（校内行事、1・2年次生参加【3月】）



御津トーク全体（体育館）



社会人との座談会の様子1



社会人との座談会の様子2

8. インターンシップ、アルバイト（1～3年次の希望者【通年】）



あいらの杜 新保



美容室ブルーム



動物愛護センター



平林金属株式会社



株式会社わたなべ生鮮館



株式会社日産サティオ岡山

9. 総合的な探究の時間における地元地域や産業界と連携した取組

①『御津花火（復活）開催の後押し』

コロナ禍や資金難により未開催であった御津花火の復活を後押しするため、御津高校オリジナル花火（トマト）の制作費等を捻出するため、募金活動をしたり協賛金を集めたりした。当日は、ビンゴ大会や吹奏楽部の演奏などのステージ演目、キッチンカーの募集及び出店調整、射的やポップコーン販売を行い花火復活にしっかりと貢献した。



御津花火復活のための募金活動



復活した御津花火大会の様子



御津高オリジナル「トマト」

②『空き家活用』

岡山御津高校の2軒隣、正門より徒歩30秒の場所にある空き家の所有者より、高校生の教育のために活用する了解を得て活用案を検討。「みつのひみつ基地」というコンセプトのもと、地域の方と学生の交流の場とした。難しいことはせず、シンプルにかつた等の昔あそびを一緒に楽しくやりながら時間を過ごした。笑いや会話が弾み参加者が皆仲良くなり、これまでになかった貴重な機会となった。



地域の空き家「古民家」の有効活用



地域住民との交流会



地域の方と記念写真

③『ものづくり（革製品、ドレッシング）』

革製品の製造販売を行う有限会社 nap より、どうしても端材となってしまいう本革を提供頂けることとなり、再利用の為のものづくりに挑戦した。代表者の河合氏を学校に招き革の扱い方や現実的に製作可能な名札入れやコインケース、ペンケースなどの工程のレクチャーを受ける。プロから真剣に学べたことで、手作り感が残る素敵な小物雑貨が完成した。オリジナルの刻印も施し、文化祭での販売や企業への販売もおこなった。



有限会社スコレーと岡山御津高校生とのコラボ商品「どらふる」は、健康的な国産無農薬のドラゴンフルーツを使用したドレッシングで2種類の味を開発した。2023年度の3年次生により商品自体の味の選定、パッケージのデザインなど進め、2024年度の3年次生が引継ぎ商品を完成させ販売まで行った。「みつ元気まつり」に出店しアンケートを実施しサラダに限らず冷しゃぶにも合う等の意見があり試食会兼販売会を実施した。



④『高齢者施設への訪問』

岡山御津高校の通学路途中にある養護老人ホーム「玉松園」には多くの高齢者が居住しており、ヒアリングの結果、日々の時間の過ごし方がマンネリ化し、生活プログラムの内容を考えていくことが大変とのことであった。高校生（若者）と時間を過ごすことは、高齢者にとって元気をもらえ、明るい気持ちになる。また脳だけではなく、手や指を使う内容も認知症予防にも効果的とのこと。高校生が「玉松園」を訪問し、ハーバリウム製作のワークショップを実施した。



10. 社会貢献活動、地域行事体験、ボランティア等

①「みつ健康マラソン大会」ボランティア（1年次【12月】）



ランナー応援



ゴール後のタオル掛け



表彰補助

②御津地域行事体験（2年次【10月・11月】）



はなよ



はなよ（高齢者施設訪問）



神輿



御津花火大会（夜店の手伝い）



御津花火大会（射的）



御津花火大会（ゴミ拾い）

※ICTの活用について

体験行事の内容を視覚化してサイトにまとめ、事前学習の際に活用した。生徒は1人1台端末を活用して体験活動の内容を十分理解した上で活動を主体的に選択することができた。また、フォームを活用して体験希望や行事をよりよくするアイデアなどを効率よく集約することができた。（下はサイト参考図）



岡山御津高校が存在する御津地域の行事に参加しよう。

御津地域の伝統文化や地域の防災について考えるきっかけにしよう。

5つの行事体験プログラムの中からどれか1つの体験プログラムに参加しよう。

（申込みフォームはこのサイトの最下部にあります。）



10/19（日）
七曲神社大祭
はなよ

七曲神社357年の歴史を持つ奇祭・風習「はなよ」で地域を盛り上げてくれる高校生を募集します。「はなよ」は強田郡大祭の化身です。「神輿」がやってくる前に、町々々々を盛り立てて回ります。



10/19（日）
七曲神社大祭
神輿（みこし）

七曲神社大祭の「神輿」で地域を盛り上げてくれる高校生を募集します。「神輿（みこし）」を地域で担ぐことで、安全と健康、そして素晴らしい未来への道を聞く役割をします。



10/25（土）
御津花火大会
（会場：御津中学校）

花火が打ち上がるまでのビンゴゲーム大会や夜店の運営補助が求めています。ここまで回りで打ち上がる花火を見られるチャンスはなかなかありません。燃発、花火イベントを盛り上げていただきますが、参加をお待ちしています。

[地域行事体験の詳細、人数の上限等（PDF）はこちらから](#)

[参加希望入力フォームはこちらから](#)

◎ 「行きたくなる学校」づくりの土台となる「発達支持的生徒指導」について

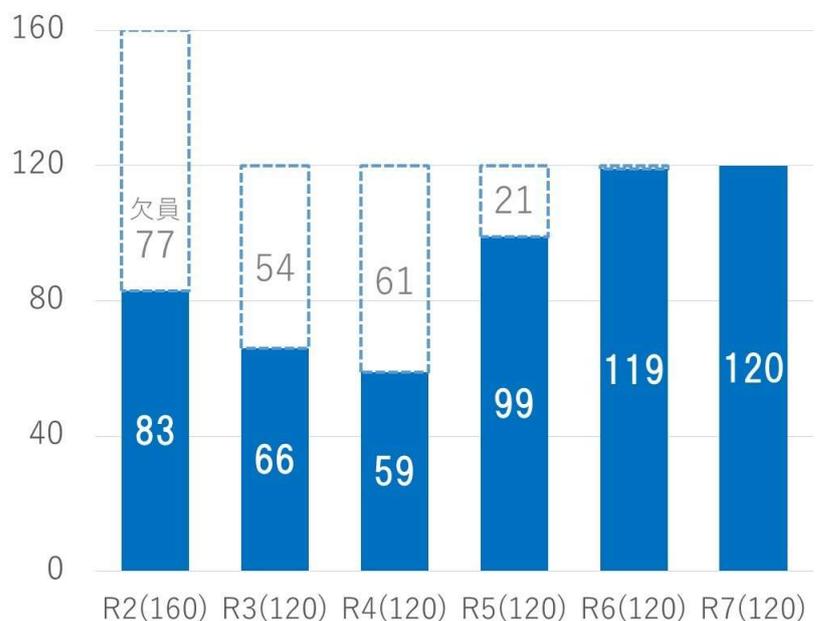
本校では、令和5年度から「行きたくなる学校づくり」を経営目標に掲げている。「行きたくなる学校づくり」に必要なことは何か、年度初めの職員会議においてブレインストーミングを行った。そこには「自分の居場所がある」、「会いたい友達、先生がいる」、「先生がよく話を聞いてくれる」等など15分程度の中に200を超えるアイデアが付箋に書き上げられた。教師視点からやや離れて、改めて行きたくなる学校とは何かということを考えてみると、「感じがいい」「受け入れてもらっている気持ちになる」ということがまず、第一ではないかということになった。高校生であっても、朝は「よく来たね、いい日にしなさいよ」の声かけがあれば、1日のいいスタートが切れそうである。そして、令和5年度から「発達支持的生徒指導による魅力ある学校づくり」の研究指定を受け、この研究のキーワードである「発達支持的生徒指導」について教員研修を重ねてきた。この発達支持的生徒指導とは「日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話・・・(生徒指導提要)」とあるように決して難しいことではない。本校では、すべての先生がこのスタンスで生徒指導にあたることで、生徒と教員、保護者と学校の信頼関係は大きく改善した。



教員研修

◎ 生徒募集の状況について

令和5年からの生徒募集は上向き傾向となり本校に対する評価がやや変わってきた。学校の評価とは、本校が多様な学習ニーズに応える高校として認知されてきたことに他ならず、入学した生徒の志向や様子を伺うと多様な中でも、その傾向は絞られてきた感じがしている。本校としては、中学時代がどのような状況であっても、高校生になったらがんばろうと思っている生徒であれば受け入れるつもりで生徒募集をしている。必ずしも競争率が1倍を超えることを目指してはおらず、本校の考えを理解し、自分の意志とマッチングできる生徒であれば歓迎である。令和7年からは、フレックス制(全通併修)を導入し、定員の20%(24名)は、1年次は岡山操山高校通信制の科目履修と本校の授業を半々で受けながら、学習をすすめるという新たな枠組みを設けている。また、令和6年から、教育庁人権教育・生徒指導課が県内の中学生を対象にして、さまざまな理由で中学校に登校できていないが県立高校の進学を目指す生徒を対象に、学習支援を行なう居場所として「My Place(マイプレイス)」という教育支援センターを本校内に開所しており、常時、中学生が利用している。



意識調査（向学校度アンケート）4項目について 過年度比較（11月調査をもとに）

意識調査（向学校度アンケート）を年間4回（5月、7月、11月、2月）におこない、意識調査の結果を手がかりに、取組の点検・見直しをおこなって取組の改善に繋げた。意識調査の最大の目的は、生徒の声を取組の改善に活かすことである。

< 4項目 >

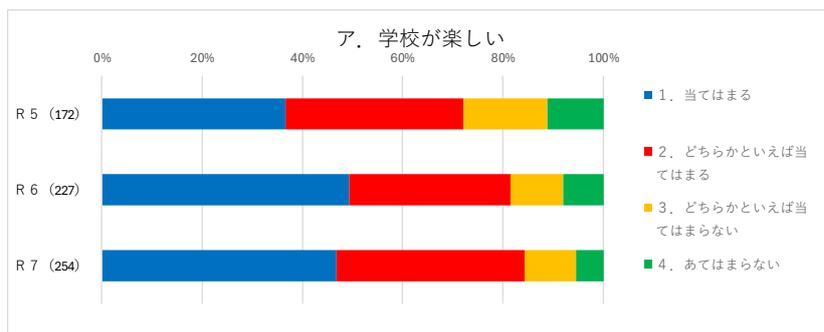
- ア. 学校が楽しい
- イ. みんなで何かをするのは楽しい
- ウ. 授業に主体的に取り組んでいる
- エ. 授業がよくわかる

以下のグラフは、令和5年度から令和7年度に実施した意識調査（向学校度）のうち11月調査に着目して過年度比較をおこなった結果である。

3年間の本事業の取組によって、4項目すべてにおいて肯定回答率（「1. あてはまる」、「2. どちらかといえば当てはまる」の合計）【以下、肯定回答率】が80%を超えた。

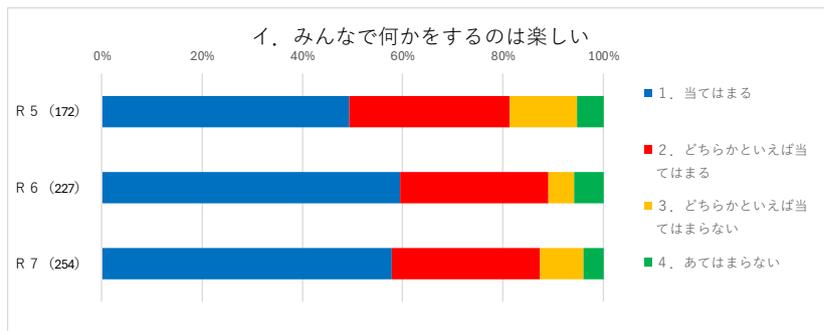
ア. 学校が楽しい

	1. 当てはまる	2. どちらかといえば当てはまる	3. どちらかといえば当てはまらない	4. あてはまらない	集計数
R 5 (172)	37%	35%	17%	11%	172
R 6 (227)	49%	32%	11%	8%	227
R 7 (254)	47%	37%	10%	6%	254



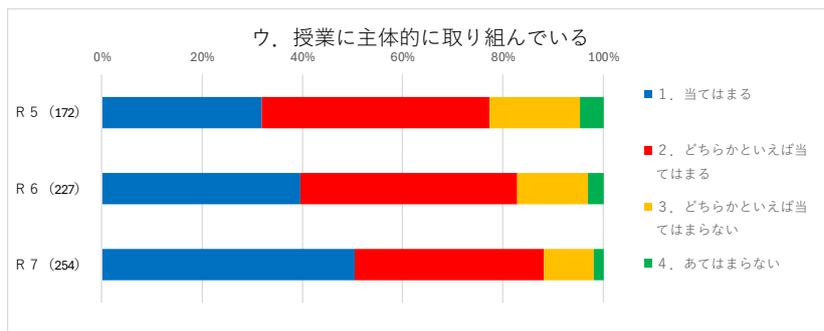
イ. みんなで何かをするのは楽しい

	1. 当てはまる	2. どちらかといえば当てはまる	3. どちらかといえば当てはまらない	4. あてはまらない	集計数
R 5 (172)	49%	32%	13%	5%	172
R 6 (227)	59%	30%	5%	6%	227
R 7 (254)	58%	30%	9%	4%	254



ウ. 授業に主体的に取り組んでいる

	1. 当てはまる	2. どちらかといえば当てはまる	3. どちらかといえば当てはまらない	4. あてはまらない	集計数
R 5 (172)	32%	45%	18%	5%	172
R 6 (227)	40%	43%	14%	3%	227
R 7 (254)	50%	38%	10%	2%	254



エ. 授業がよくわかる

	1. 当てはまる	2. どちらかといえば当てはまる	3. どちらかといえば当てはまらない	4. あてはまらない	集計数
R 5 (172)	20%	51%	22%	7%	172
R 6 (227)	30%	47%	17%	6%	227
R 7 (254)	37%	46%	13%	4%	254

